

令和 7 年度
石垣市教育事務点検評価報告書
(令和 6 年度事業対象)

令和 7 年 11 月
石垣市教育委員会

石垣市教育事務点検評価報告書の議会への提出及び公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、令和 7 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行い、教育に関し石垣市教育委員会が認めた学識等の経験を有する者の意見を付して報告します。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目次

はじめに	1
1 教育委員会の活動	2
令和 6 年度 教育委員会活動状況一覧表	3
令和 6 年度 教育委員会会議開催状況一覧表	4
2 教育事務点検評価	10
令和 7 年度 教育事務（令和 6 年度実施事業）点検評価結果一覧表	10
学校給食事業	11
石垣部活動等指導環境充実化構築事業	12
教育・保育環境整備事業	13
市立教育施設 AED 整備事業	14
GIGA スクール構想推進事業	15
スクールロイヤー活用事業	16
不登校対策等支援員配置事業	17
社会教育事業費（高齢者大学事業）	18
文化財調査事業	19
台湾大学所蔵資料（田代安定文庫）収集・調査事業	20
郷土学習費（こども博物館教室事業）	21
展示普及整理保存費（特別企画展「沖縄の染と織の至宝」）	22
移動図書館事業	23
児童書関連事業（だっこ DE おはなし会、ぬいぐるみおとまり会）	24
給食センター管理費	25
学校給食充実・支援事業	26
3 外部評価委員による総評	27
【資料】	
令和 6 年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系	29
令和 7 年度 石垣市教育委員会組織機構図	30
石垣市教育事務点検評価実施要綱	31

はじめに

石垣市教育委員会では、①自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する。②平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な市民を育成する。③学校・家庭・地域社会相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応し得る教育の方途を求め、生涯学習社会の実現を図る。を教育目標に教育行政を推進しています。

これらの目標を推進するための施策として、教育委員会各課等において令和6年度に実施した事業の中から16事業を選定し、今年度の点検評価を行いました。

評価方法としては、各担当課が事業執行概要等を評価シートとして作成し、教育事務点検評価委員会で内容等の点検及び内部評価を行いました。その後、学識経験者で構成される外部評価委員会による各課ヒアリングを実施し、事業ごとに外部評価を行いました。

その結果、外部評価委員からは16事業中2事業が計画以上の成果を上げている。14事業が計画通りに執行されている。という評価を受けました。また、評価の中身においても、多くの事業で様々なご指摘とご提言をいただいております。

これらの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に反映させるよう努めてまいります。

この報告書は、評価の結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで市民への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

今後とも市民の皆様の教育行政へのご理解とご協力を願い申し上げます。

石垣市教育委員会教育長及び委員（R7年11月現在）

職名	氏名	任期	備考
教育長	崎山 晃	自 令和7年4月1日 至 令和10年3月31日	(2期目)
教育長職務代理者	南 和秀	自 令和5年4月1日 至 令和9年3月31日	(2期目)
委員	浦崎 美紀子	自 令和3年12月19日 至 令和7年12月18日	
委員	吉濱 徳子	自 令和7年4月1日 至 令和11年3月31日	
委員	新川 清孝	自 令和7年9月25日 至 令和7年12月18日	

石垣市教育事務点検評価外部評価委員

氏名	備考
吉濱 剛	元石垣市立小学校長
古堅 博之	元石垣市教育委員会課長

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の会議等の状況

石垣市教育委員会においては、教育委員会の会議を毎月 1 回以上開催し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

教育委員会の会議は、原則として毎月第 4 金曜日に定例会を、必要に応じて臨時会を開催しています。令和 6 年度は定例会 12 回、臨時会 4 回の計 16 回の会議を開催しました。

また、沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区市町教育委員会協議会の総会・研修会等に参加し、他市町村の教育委員と意見交換を行い、教育委員会が直面する課題等について情報を共有し、教育行政について研鑽を積むことができました。

(2) 審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 25 条及び石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第 2 条の規定に基づき、計 85 件の議案を審議しました。

(3) その他の活動状況

行事・大会等への参加

- ・市立小中学校入学式
- ・市立小中学校運動会・学習発表会・研究発表会等
- ・市立小中学校訪問（授業・校内視察及び意見交換）
- ・市立教育研究所入所式・研究成果報告会
- ・石垣市二十歳を祝う式典
- ・市主催行事（市制施行記念式典）

令和6年度 教育委員会活動状況一覧表

月	会議		その他の活動
	教育委員会	その他	
4月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会連合会理事会	・各小中学校入学式
5月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会	・石垣市小学生・中学生教育交流
6月	・定例会		
7月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会連合会地区事務局長会議 ・八重山地区市町教育委員会協議会全体会	
8月	・定例会 ・臨時会	・沖縄県市町村教育委員会連合会理事会	
9月	・定例会		
10月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会連合会・研修会	・教育研究所入所式 ・学校訪問（野底小）
11月	・定例会		・学校訪問（石垣小、登野城小）
12月	・定例会		・学校訪問（石垣第二中）
1月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会連合会理事会	・石垣市二十歳を祝う式典 ・学校訪問（名蔵小中、川平小中、宮良小）
2月	・定例会 ・臨時会		・いしがき教育の日（講演会）
3月	・定例会 ・臨時会		・教育研究所成果報告会・修了式 ・各小中学校卒業式

令和 6 年度 教育委員会会議開催状況一覧表

区分	開催回数	付議件数	主な内容
定例会	12 回	75 件	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する基本的な方針に関すること。 ・規則、規程、要綱等の制定改廃に関すること。 ・教育委員会事務局、教育機関の人事 (幼稚園、小中学校含む)に関すること。
臨時会	4 回	10 件	<ul style="list-style-type: none"> ・教育予算に関すること。
計	16 回	85 件	<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関等の委員の任命・委嘱に関すること。

開催回数	開催日	議案番号	議案名	摘要
第 1 回 定例会	4 月 25 日	議案第 1 号	石垣市教育委員会教育長職務代理者の指名について	承認
		議案第 2 号	幼保連携型認定こども園の設置に対する意見について	承認
		議案第 3 号	幼保連携型認定こども園の廃止に対する意見について (まきらこども園)	修正可決
		議案第 4 号	学校設置条例の一部改正議案提出の承認を求ることについて (みやまえ幼稚園)	承認
		議案第 5 号	令和 6 年度石垣市教育委員会教育主要施策体系の承認を求ることについて	修正可決
		議案第 6 号	学校施設の使用に関する協定の締結について (石垣第二中学校ほか)	承認
第 2 回 定例会	5 月 28 日	議案第 7 号	石垣市社会教育委員の委嘱の承認を求ることについて	承認
		議案第 8 号	沖縄離島活性化推進事業費補助金による石垣市児童生徒が所属する団体等の市外派遣に関する補助金交付要綱の制定について	修正可決
		議案第 9 号	石垣市児童生徒が所属する団体等の年度末時期の市外派遣に関する補助金交付要綱の制定について	修正可決
		議案第 10 号	石垣市児童生徒が所属する団体等の県外派遣にかかる輸送費に関する補助金交付要綱の制定について	原案可決

		議案第 11 号	学校施設の使用に関する協定の締結について (石垣小学校)	承認
		議案第 12 号	令和 7 年度使用中学校教科用図書の選定について (諮問)	修正可決
		議案第 13 号	令和 6 年度教科用図書八重山採択地区協議会委員の選任について	承認
		議案第 14 号	令和 6 年度石垣市教育支援委員の委嘱について	承認
		議案第 15 号	石垣市立八重山博物館条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めるについて	原案可決
		議案第 16 号	石垣市立八重山博物館入館料徴収条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めるについて	原案可決
		議案第 17 号	石垣市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱の承認を求めるについて	承認
		議案第 18 号	学校運営協議会委員の委嘱及び任命について	修正可決
第 3 回定例会	6 月 28 日	議案第 19 号	令和 6 年度石垣市一般会計補正予算 (第 1 号) 案提出の承認を求めるについて	修正可決
		議案第 20 号	学校施設の使用に関する協定の締結について (川平中学校、富野中学校)	承認
第 4 回定例会	7 月 25 日	議案第 21 号	石垣市立図書館協議会委員の委嘱又は任命の承認を求めるについて	承認
		議案第 22 号	石垣市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 23 号	石垣市立幼稚園の学級編制の特例に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 24 号	令和 7 年度石垣市立幼稚園園児募集希望方針 (案) の承認について	承認
		議案第 25 号	石垣市立幼稚園の休園及び閉園に関する要綱に制定について	原案可決
		議案第 26 号	公有財産所管換えの同意について (伊原間中学校)	承認
		議案第 27 号	石垣市教育事務点検評価委員会外部評価委員の委嘱の承認を求めるについて	承認

		議案第 28 号	旧市立幼稚園施設の使用に関する協定の締結について（旧やえやま幼稚園、旧みやとり幼稚園）	承認
		議案第 29 号	学校施設の使用に関する協定の締結について（登野城小学校、白保中学校）	承認
第 5 回 臨時会	8 月 15 日	議案第 30 号	令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について	承認
第 6 回 定例会	8 月 27 日	議案第 31 号	すぎやまこういち記念島の子応援プロジェクト基金条例の制定について	原案可決
		議案第 32 号	学校施設の使用に関する協定の締結について（石垣小学校）	承認
		議案第 33 号	石垣市立図書館防犯カメラの設置及び管理運用に関する要綱の制定について	承認
		議案第 34 号	令和 6 年度石垣市一般会計補正予算（第 4 号）案提出の承認を求めるについて	承認
第 7 回 定例会	9 月 27 日	議案第 35 号	財産の取得について（追認）	承認
第 8 回 定例会	10 月 24 日	議案第 36 号	石垣市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の承認を求めるについて	承認
		議案第 37 号	石垣市学校給食費支援金給付事業実施要綱の制定について	承認
		議案第 38 号	石垣市学校給食費助成金交付に関する要綱の改正	承認
第 9 回 定例会	11 月 29 日	議案第 39 号	かわはら幼稚園、みやなが幼稚園の財産処分の承認を求めるについて	承認
		議案第 40 号	令和 6 年度石垣市教育事務点検評価報告書（令和 5 年度事業対象）の承認を求めるについて	承認
		議案第 41 号	石垣市部活動等指導環境充実化構築事業による外部指導者招聘補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第 42 号	議会への専決処分の報告について	承認
		議案第 43 号	令和 6 年度石垣市一般会計補正予算（第 7 号）案提出の承認を求めるについて	承認
		議案第 44 号	令和 7 年度石垣市教育委員会（幼稚園教諭）人事異動方針の承認を求めるについて	原案可決

		議案第 45 号	令和 7 年度石垣市教育委員会人事異動方針の承認を求めることについて	原案可決
第 10 回定例会	12 月 24 日	議案第 46 号	学校施設の使用に関する協定の締結について(伊原間中学校)	承認
第 11 回定例会	1 月 28 日	議案第 47 号	石垣市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則	原案可決
第 12 回臨時会	2 月 14 日	議案第 48 号	令和 7 年度県費教職員(管理職を除く)人事異動内申の承認を求めることについて	承認
		議案第 49 号	令和 7 年度県費教職員(管理職)人事異動内申の承認を求めることについて	承認
第 13 回定例会	2 月 19 日	議案第 50 号	財産の取得に係る議案の議会提出の承認を求めることについて(令和 7 年度使用中学校教師用指導書購入)	承認
		議案第 51 号	財産の取得に対する意見について(令和 7 年度使用小学校教師用指導書購入)	承認
		議案第 52 号	令和 7 年度石垣市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 53 号	石垣市立適応指導教室設置規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 54 号	石垣市立教育研究所設置条例施行規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第 55 号	石垣市立教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第 56 号	石垣市立適応指導教室通級及び石垣市青少年センター通所等検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱	原案可決
		議案第 57 号	石垣市不登校児童生徒支援機関申請等の手続きに関する要綱の一部を改正する要綱	原案可決
		議案第 58 号	石垣市立学校職員の自家用車の校務使用に関する基準の一部を改正する基準	原案可決
		議案第 59 号	令和 6 年度石垣市一般会計補正予算(第 9 号)案提出の承認を求めることについて	原案可決
		議案第 60 号	令和 7 年度石垣市一般会計予算(教育予算)案提出の承認を求めることについて	原案可決
第 14 回臨時会	3 月 7 日	議案第 61 号	令和 7 年度教育委員会学校関係職員(幼稚園教諭等)定期人事異動内示について	承認

第 15 回 臨時会	3 月 21 日	議案第 62 号	教育委員会事務局組織の変更に伴う関係規則の整備に関する規則	原案可決
		議案第 63 号	教育委員会事務局組織の変更に伴う関係要綱の整備に関する要綱	原案可決
		議案第 64 号	教育委員会事務局組織の変更に伴う関係規程の整備に関する訓令	原案可決
		議案第 65 号	石垣市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第 66 号	令和 7 年度教育委員会事務局・教育機関（学校を除く）定期人事異動内示の承認を求めるについて	承認
		議案第 67 号	令和 7 年度教育委員会学校関係職員(幼稚園教諭を除く)定期人事異動内示の承認を求めるについて	承認
第 16 回 定例会	3 月 25 日	議案第 68 号	令和 7 年度石垣市立幼稚園医、園歯科医及び園薬剤師の委嘱の承認を求めるについて	承認
		議案第 69 号	学校施設の使用に関する協定の締結について（かわはら幼稚園、みやなが幼稚園）	承認
		議案第 70 号	学校施設の使用に関する協定の締結について（伊野田小学校他 1 校）	承認
		議案第 71 号	旧市立幼稚園施設の使用に関する協定の締結について（旧やえやま幼稚園、旧みやとり幼稚園）	承認
		議案第 72 号	石垣市立学校物品管理規則の制定について	原案可決
		議案第 73 号	石垣市立小学校及び中学校の指定通学区域に関する規則の一部改正について	原案可決
		議案第 74 号	石垣市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 75 号	石垣市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第 76 号	石垣市物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業学校給食費助成金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第 77 号	日本語学習支援事業実施要綱の制定について	原案可決

議案第 78 号	石垣市高度へき地修学旅行費補助事業実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
議案第 79 号	石垣市通学路安全推進会議設置要綱の一部を改正する要綱	原案可決
議案第 80 号	石垣市教育委員会産業医の報酬、費用弁償その他勤務条件等に関する要綱の一部を改正する要綱	原案可決
議案第 81 号	新石垣立八重山博物館（仮称）建設事業部内検討会議設置要綱を廃止する要綱	原案可決
議案第 82 号	石垣市立学校給食センター調理業務棟民間委託推進検討会議設置要綱及び石垣市立学校給食センター調理業務棟委託憲章委員会設置要綱を廃止する要綱について	原案可決
議案第 83 号	石垣市教育委員会物品会計規程を廃止する訓令	原案可決
議案第 84 号	石垣市指定文化財への指定承認を求めるについて	承認
議案第 85 号	令和 7 年度県費教職員(管理職)人事異動内申の承認を求めるについて	承認

2 教育事務点検評価

令和7年度 教育事務（令和6年度実施事業）点検評価結果一覧表

No.	事業名	新規	継続	単年	沖振交	担当課	内部評価	外部評価	頁
1	学校給食事業		○			教育総務課	A	A	11
2	石垣部活動等指導環境充実化構築事業	○				教育総務課	B	A	12
3	教育・保育環境整備事業		○			学務課	A	A	13
4	市立教育施設AED整備事業		○			学務課	A	A	14
5	GIGAスクール構想推進事業	○				学校教育課	A	A	15
6	スクールロイヤー活用事業		○			学校教育課	A	A	16
7	不登校対策等支援員配置事業		○		○	いきいき学び課	A	A	17
8	社会教育事業費（高齢者大学事業）		○			いきいき学び課	S	S	18
9	文化財調査事業		○			文化財・市史編集課	B	A	19
10	台湾大学所蔵資料（田代安定文庫）収集・調査事業		○			文化財・市史編集課	A	A	20
11	郷土学習費（こども博物館教室事業）		○			博物館	B	A	21
12	展示普及整理保存費 (特別企画展「沖縄の染と織の至宝」)			○		博物館	A	S	22
13	移動図書館事業		○			図書館	A	A	23
14	児童書関連事業 (だっこDEおはなし会、ぬいぐるみおとまり会)		○			図書館	B	A	24
15	給食センター管理費		○			給食センター	A	A	25
16	学校給食充実・支援事業			○		給食センター	A	A	26

評価	内部評価	外部評価
S : 計画以上(101%以上)	1事業	2事業
A : 計画通り(80~100%)	11事業	14事業
B : ある程度計画通り(50~79%)	4事業	0事業
C : あまりうまくいっていない(30~49%)	0事業	0事業
D : うまくいっていない(29%以下)	0事業	0事業

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和7年度(令和6年度事業)		主管課	教育総務課			
事務事業名	学校給食事業						
施策体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り拓く児童生徒の育成					
	施策項目	(4) 健やかな体の育成					
【事業実績・目標】		※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1) R6当初の状況(課題)	令和5年度に給食費について公会計化へ移行し、給食費の徴収を学校ではなく教育委員会にて実施している。新たな給食システムへの対応や徴収事務に対応する人員が学校徴収時と比較して減少しているため、徴収率の低下が課題である。						
(2) めざす目的・成果	公会計移行前は、令和3年度:99.52%、令和4年度:99.17%と非常に高い給食費徴収率が実績としてあるため、未納世帯に対して督促状の送付や電話・文書による複数回の督促などの滞納整理に努め、公会計移行後も徴収率99%を目指す。						
(3) 事業内容(手段・手法等)	未納分の滞納整理に当たっては、督促や催告を行い、必要に応じて法的措置を講ずるとともに、口座振替の促進や納付期限の延長等により未然防止を図る。また、経済的に困難な保護者には就学援助制度等を周知し支援を行い、滞納額の縮減と計画的な滞納整理を推進する。						
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度			
事業費(決算額)			27,442 千円	87,655 千円			
指標①		計画値	99%	99%			
給食費徴収率		実績値	98.48%	97.73%			
指標②		計画値	80%	82.50%			
口座振替率		実績値	83.54%	85.39%			
指標③		計画値					
		実績値		-			
指標④		計画値					
		実績値		-			
その他R6実績	・国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和6年11月から令和7年3月に提供する学校給食費の無償化を実施した。 ・これまでの日額単価制から制度改正し、令和7年度以降は、給食費の月額制に移行への仕組みづくり、また、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金及び県の公立学校給食費無償化支援事業補助金を活用し、給食費の半額を助成する仕組みづくりを実施した。						
【点検評価】							
区分	評価の説明			評価凡例			
内部評価	【成果・課題・改善方法】 目標値まであと1歩届かなかった。要因としては、年度途中の学校給食費の無償化に伴い、それまで事前に給食費を納めていた世帯への還付作業が膨大に発生したことにより、滞納者への対応が遅れてしまったことが挙げられる。令和7年度以降は、学校給食費の月額制移行により、還付作業の減少が見込まれるため、今後は、滞納整理の一層の強化に取り組む。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)			
A							
外部評価	令和5年度に給食費の公会計化が移行し、徴収事務を教育委員会で実施し、徴収率は97.73%と下がったものの、口座振替率は85.39%と伸びました。徴収事務に対応する人員が学校徴収時と比較して減少していますが、公会計化は基本的に良い方向であり、学校現場との情報共有や連携の在り方を工夫し、また、更なる督促・催告等を含めた事務手続きにより、今後の徴収率アップに期待します。						
A							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	教育総務課
事務事業名		石垣市部活動等指導環境充実化構築事業		
施策 体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り拓く児童生徒の育成		
	施策項目	(3) 豊かな心の育成		
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)				
(1) R6当初の状況(課題)		本市部活動においては、一部で全国的に目覚ましい活躍を成し遂げる種目がある一方、多くの種目では技能・競技力の向上が課題である。そのため、日々の練習の質を高め、他校等との練習試合や大会等へ数多く参加し、心身、技能・競技力を養う必要があるが、島内での練習試合は対戦相手が限られるとともに大会の多くは沖縄本島で開催されることから、離島における教育機会の格差につながっている。		
(2) めざす目的・成果		島外の指導者を招聘し、指導者の育成及び練習の質を高めるとともに、練習試合や大会参加をとおして、技術面や心身の習熟度を定期的に確認することで技能・競技力の向上に資するとともに本市の離島であることの条件不利性を軽減することを目的とする。		
(3) 事業内容(手段・手法等)		•R6～R8の3ヶ年を実証期間とする事業である。 •島外で開催される大会や練習試合、コンクール、コンテスト等に出場、参加する際の児童生徒及びその指導者等に対する渡航費及び宿泊費等の一部を助成する。		
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度
事業費(決算額)			千円	113,161 千円
指標①		計画値		10人
部活動指導員人材バンク登録件数		実績値		5人
指標②		計画値	5個人3団体	5個人3団体
上位入賞者数(県、全国大会)		実績値	集計中	
指標③		計画値		
		実績値		-
指標④		計画値		
		実績値		-
その他 R6実績	補助額:113,160,785円、総件数:608件、総人数:6,025人 (参考) 石垣市まちづくり支援寄附金活用事業活用分 補助額:31,090,000円、総件数:161件、総人数:1,636人			
【点検評価】				
区分	評価の説明			評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果) 令和5年度までは一括交付金を活用して実施している。年々認知度が高まってきたことや、補助対象・補助額の拡大に伴って申請件数が伸びている。 (課題) 令和8年度までの実証期間となっているため、令和9年度以降の財源確保に向けた検討が必要である。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70～100%) B:ある程度 計画通り (50～69%) C:あまりうまく いっていない (30～49%) D:うまくいって いない (29%以下)
外部評価	離島活性化補助金の活用により、島外活動への支援が強化され、技能や競技力の向上が認められます。指導者育成の面ではまだ課題があるものの、派遣費補助の面では十分な成果を上げており、申請件数も増加しているため、今後の財源確保にしっかりと取り組んで頂き、多くの児童生徒に活躍の機会を提供してください。			
A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	学務課			
事務事業名		教育・保育環境整備事業					
施策 体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]					
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実					
【事業実績・目標】		※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1) R6当初の 状況(課題)	経年劣化、不具合等により修繕又は改修を要する校舎、屋内運動場、工作物等が多くあり、優先順位を付けて改修等を行っているが学校数も多く予算確保が課題である。						
(2) めざす目的・ 成果	学校からの要請等に基づき、優先度をつけて修繕、改修を行い安全安心な学習環境を確保する。						
(3) 事業内容 (手段・手法等)	学校からの修繕要請に対し現場確認をするなどしながら修繕や改修工事を行う。						
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度			
事業費(決算額)			145,346 千円	150,347 千円			
指標①		計画値	100%	100%			
請負工事費		実績値	99%	72%			
指標②		計画値					
		実績値		-			
指標③		計画値					
		実績値		-			
指標④		計画値					
		実績値		-			
その他 R6実績	石垣第二中学校手摺修繕工事、石垣第二中学校屋内運動場屋根改修工事、大浜中学校パッケージ型消火設備改修工事、市内学校施設の全トイレ洋式化改修工事(洋式化率100%)、石垣中学校プール女子更衣室トイレ扉改修工事等						
【点検評価】							
区分	評価の説明			評価凡例			
内部評価 A	【成果・課題・改善方法】 各学校の要請等に応じ、修繕を進めてきた。しかし、経年劣化により、修繕個所の発生は後を絶たない。このことから、費用がかかるため、予算の確保に努めていきたい。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)			
外部評価 A	環境整備事業では、学校からの修繕要請に対して優先度をつけて対応し、令和6年度の実績として市内学校施設のトイレの洋式化100%を達成したことは高く評価できます。今後は、老朽化の進行を踏まえた計画的な修繕・改修工事と持続的な財源確保の取り組みが求められます。また、修繕の優先順位を命じけがに関わるものを最優先とし、技術職の専門職員が現場確認を行って判断していることを、引き続き学校現場でも共有してください。						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	学務課			
事務事業名		市立教育施設AED整備事業					
施策 体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]					
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実					
【事業実績・目標】		※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1) R6当初の 状況(課題)	石垣市立小中学校には既にAEDが100%配備されている。						
(2) めざす目的・ 成果	100%配備の状態を維持する。						
(3) 事業内容 (手段・手法等)	リース契約し全市立小中学校へ配備する。						
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度			
事業費(決算額)			969 千円	981 千円			
指標①		計画値	25台	26台			
全学校AED配備		実績値	25台	26台			
指標②		計画値					
		実績値		-			
指標③		計画値					
		実績値		-			
指標④		計画値					
		実績値		-			
その他 R6実績	全校へ配備したが、石垣第二中学校に持病のある生徒がいることから2台目を追加設置している。						
【点検評価】							
区分	評価の説明			評価凡例			
内部評価 A	【成果・課題・改善方法】 全市立学校への配備に加え、学校の実情に応じたきめ細やかな対応ができた。引き続き、この状態を維持していきたい。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)			
外部評価 A	市内全小中学校へのAED配備が完了し、特別な配慮が必要な生徒がいる学校には2台目を追加設置するなど、学校現場の状況に応じた柔軟かつ的確な対応が行われている点が高く評価できます。消防に情報共有することによりAEDマップを作成していることは市民の安心安全に繋がっています。引き続き、現行水準を維持し、安定的な運用の継続が望まれます。						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	学校教育課			
事務事業名		GIGAスクール構想推進事業					
施策 体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り拓く児童生徒の育成[学校教育の充実]					
	施策項目	(8) 情報教育の推進					
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)							
(1) R6当初の状況(課題)	R3に市立小中学校における高速大容量のネットワーク環境および1人1台端末を整備後、ICT活用についての取組が進んでいるが、学校、教師間の格差が顕著化している。						
(2) めざす目的・成果	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のために必要不可欠な学習基盤であるICT環境の維持管理を行う。【ICT機器の活用率:90%】						
(3) 事業内容(手段・手法等)	GIGA端末の保守管理 高速大容量ネットワーク環境の保全 学校ICT支援員による授業支援、校務支援、環境整備、校内研修支援						
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度			
事業費(決算額)			94,656 千円	76,368 千円			
指標①		計画値	実施	実施			
GIGA端末保守管理委託		実績値	実施	-			
指標②		計画値	実施	実施			
高速大容量ネットワーク環境保全委託		実績値	実施	-			
指標③		計画値	4名	4名			
学校ICT支援員の任用		実績値	4名	-			
指標④		計画値	90%	90%			
ICT機器活用率(小中平均) ※週3回以上		実績値	100%	94%			
その他 R6実績	プログラミング教材導入(中学校) 授業目的公衆送信補償金						
【点検評価】							
区分	評価の説明			評価凡例			
内部評価 A	【成果・課題・改善方法】 (成果)令和の日本型学校教育の基盤となるICT環境を維持管理することで、全国及び県平均を上回るICT活用率を達成することができた。 (課題)ICT活用が日常化することで、GIGA端末の故障率の増加、ネットワークの帯域不足が顕著化している。 (改善方法)R7年度にネットワーク増強、R8年度には端末更新を行う。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)			
外部評価 A	変化の激しい時代に対応できる能力を育成するための教育として整備したICT環境の維持管理を事業目的に、保守点検、維持管理及びICT専門の支援員を配置し、全国・県平均を上回るICT活用率を達成しています。学校・教師間の活用率の格差、端末機器の故障率については、事業の継続化の重要なカギとなることから、今後のICT支援員の授業支援強化、ネットワーク増強、端末機器の更新等への更なる取り組みを期待します。						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	学校教育課
事務事業名		スクールロイヤー活用事業		
施策 体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実(教育行政の充実)		
	施策項目	(8) 快適な職場環境の形成と安全衛生管理体制の整備充実		
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)				
(1) R6当初の状況(課題)		社会の多様化が一層進む中、本市の小・中学校においても、子供たちを取り巻く問題や、学校への過度の期待や要望に係る様々な保護者対応が生まれ、本来の業務である児童生徒の教育に十分な時間をかけられなくなっている状況が生じている。それらの対応について、学校や関係機関による連携支援だけでは解決が難しい状況が生じている。		
(2) めざす目的・成果		本市の学校教育に係る法律問題について、スクールロイヤーに専門的な助言及び指導を受けることにより、学校運営及び学校教育を円滑かつ迅速に解決し、法律的紛争を未然に防止する。		
(3) 事業内容(手段・手法等)		○定期相談の実施…2か月に1回、スクールロイヤーによる法律相談を実施 ○電話、メール等での相談…緊急の場合、電話、メール等を利用しての法律相談を実施 ○学校訪問やリーガルマインド向上研修会等の実施		
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度
事業費(決算額)			千円	822 千円
指標①		計画値	6回	6回
法律相談実施回数		実績値	6回(8件)	-
指標②		計画値	15校	15校
学校訪問		実績値	16校	-
指標③		計画値	3校	3校
リーガルマインド向上研修会		実績値	3校	-
指標④		計画値		
		実績値		-
その他 R6実績		○電話・メールによる相談 (4校) ○スクールロイヤーによる小学生向け授業 (1件) ○教頭研修会におけるワークショップ		
【点検評価】				
区分	評価の説明			評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果)定期的な法律相談や電話・メールによる相談において、各学校の問題等に対して、スクールロイヤーより助言をいただき、各学校が各案件に対して適切に対応することができた。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	A	(課題)学校訪問の際に、法律相談に発展し得る事案等も見受けられた。多くの事案において丁寧な初期対応が重要となることから、引き続き本制度の積極的なスクールロイヤー制度の活用を呼びかける。		
外部評価	スクールロイヤー制度の活用により、法律問題について専門的な助言を受け学校運営をスムーズに行い、法的紛争を未然に防止、重大事案に発展する前に予防できることは高く評価できます。定期的な相談体制が整備されたことで、学校現場の教職員が法的リスクへの認識、有用性を理解し、気軽に相談・活用する環境整備が今後の制度運用において重要であります。			
	A			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	いきいき学び課
事務事業名		不登校対策等支援員配置事業		
施策 体系	主要施策	3 地域を誇りにした健やかな青少年の育成[青少年の健全育成]		
	施策項目	(2) 不登校対策支援の推進		
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)				
(1) R6当初の 状況(課題)	過去5年間で不登校数は右肩上がりで増加している。			
(2) めざす目的・ 成果	スクールライフサポーターの配置:10名 不登校の未然防止や早期発見・早期対応を図るため、教室に入ることのできない児童生徒に対して、学校内で孤立することがないよう居場所づくりなど、学校と協力し必要な支援を実施する。			
(3) 事業内容 (手段・手法等)	児童生徒の不登校の改善を図るため、スクールライフサポーターを学校に配置するとともに、学校と連携し、居場所づくりなど必要な支援策を講ずる。			
【事業指標の実績値・目標値】		R5年度	R6年度	R7年度
事業費(決算額)		25,648 千円	33,409 千円	48,136 千円
指標①		計画値	8名	10名
スクールライフサポーターの配置		実績値	8名	9名
指標②		計画値	実施	実施
学校生活支援、復学支援の実施		実績値	実施	実施
指標③		計画値	0.30%減	0.30%減
不登校率の減少:0.3%以上(前年比)		実績値	2.49%増	0.15%減
指標④		計画値		
		実績値		-
その他 R6実績	支援内容を可視化する取り組みとして、「対象児童生徒に会えない・家から出られない状態」をLv1から「支援を必要としなくなった状態」をLv12と段階にわけ、開始時と学期末ごとに、対象児童生徒ごとにスクールライフサポーターが評価を実施。学校や学期で段階の上下はあるものの、全体の評価平均値は対象児童生徒の状態に改善がみられた。今後の新たな成果目標の数値としたい。			
【点検評価】				
区分	評価の説明			評価凡例
内部評価 A	【成果・課題・改善方法】 (成果) 令和6年度石垣市全体の不登校者数は減少し、スクールライフサポーター配置校において目標値には届いていないが不登校率は減少した。 (課題) 学校がスクールライフサポーターに繋げる対象児童生徒について、学校ごとに繋げ方や繋げるタイミングが異なるため、支援児童生徒数にばらつきがみられる。 (改善方法) 登校渋りが始まった時点で、スクールライフサポーターに繋げることで、登校未然防止に繋がると考えられるが、スクールライフサポーター支援対象者となる基準を定めることで、支援体制の強化につなげる。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	外部評価 S	不登校率の減少という一定の成果が確認され、スクールライフサポーターの取組効果が着実に表れています。また、支援内容を可視化できるよう児童生徒の状態をレベル1から12に区分し、状態の変化をグラフ化しており事業改善が見られます。しかし、学校ごとに支援のつなげ方やタイミングに差があることが課題であり、今後は、支援対象基準を明確化し、対応差を減らすことで、早期支援と未然防止の体制強化が望されます。		

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和7年度(令和6年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	社会教育事業費(高齢者大学事業)				
施策 体系	主要施策 施策項目	4 家庭・地域の教育機能の充実 (5) 社会教育学級等の充実			
【事業実績・目標】		※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)			
(1) R6当初の 状況(課題)	令和3年度の事業開始から4年目となり、本事業が市民に周知されつつあるが、移動手段や情報収集方法により参加機会に格差がある。				
(2) めざす目的・ 成果	高齢者が心身ともに健康で活気に満ちた生活を送るとともに、自ら学びを深める。 成果:入学者数 1年生 20人				
(3) 事業内容 (手段・手法等)	全10回の講座実施(6月～10月の間)、部活実施				
【事業指標の実績値・目標値】		R5年度	R6年度		
事業費(決算額)		71 千円	107 千円		
指標①		計画値 20人	20人		
入学者数(1年生)		実績値 30人	35人		
指標②		計画値 10回	10回		
講座回数		実績値 10回	10回		
指標③		計画値 実績値	-		
指標④		計画値 実績値	-		
その他 R6実績	・部活の実施(合唱、テニス、絵葉書、陶芸)				
【点検評価】					
区分	評価の説明		評価凡例		
内部評価 S	【成果・課題・改善方法】 (成果) 入学申込者数を20人としているが、上回る57人の申込があり、入学者数は35人となつた。 (課題) 市内在住の65歳以上を対象としているが、移動手段等の問題で、市街地からの申込が多く、遠方の申込者数が少ない状況にある。 (改善方法) 出張・公開・オンラインでの講座実施検討や、路線バス移動の方も参加しやすいうように工夫する必要がある。		S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70～100%) B:ある程度 計画通り (50～69%) C:あまりうまく いっていない (30～49%) D:うまくいって いない (29%以下)		
外部評価 S	心身の健康維持と学びの充実を目的に、多くの応募が寄せられ生涯学習への関心の高さがうかがえます。公開講座や部活動支援を通じて高齢者の生きがいづくりにも貢献しており、高く評価できます。一方で、市街地に参加者が偏る傾向があるため、出張講座やオンライン実施など多様な参加形態を導入し、地域的格差を解消することにより更なる改善が期待されます。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和7年度(令和6年度事業)	主管課	文化財・市史編集課		
事務事業名	文化財調査事業				
施策体系	主要施策 5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承と発展] 施策項目 (1)文化財の保護と活用				
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1) R6当初の状況(課題)	沖縄県の実施しているアクセス道路工事が、令和7年度に予定されていることから、今年度中に旧大浜町浄水場跡の確認調査を実施して記録保存を行う必要がある。				
(2) めざす目的・成果	道路工事前に確認調査を行い、調査をとおして得られた情報を「記録保存冊子」として整理し、冊子を公表することで、多くの市民に旧大浜町浄水場跡の意義を知ってもらい、地域の記憶と学習資源として長く活用できる資料とするを目指す。				
(3) 事業内容(手段・手法等)	旧大浜町浄水場跡(4,500m ²)での配管の確認と施設等を測量及び空撮、3D動画により記録保存する。また、出土した資料を整理して、記録保存冊子としてまとめ、教育関係機関等へ配布する。				
【事業指標の実績値・目標値】		R5年度	R6年度		
事業費(決算額)		275 千円	2,682 千円		
指標①		計画値 1,800m ²	2,700m ²		
現地確認調査(4,500m ²)		実績値 1,800m ²	2,700m ²		
指標②		計画値 -	300部		
執筆及び記録保存冊子の作成		実績値 -	-		
指標③		計画値 -	-		
		実績値 -	-		
指標④		計画値 -	-		
		実績値 -	-		
その他 R6実績	調査が終了した3月には、現地を一般公開することができた。				
【点検評価】					
区分	評価の説明		評価凡例		
内部評価 B	【成果・課題・改善方法】 本事業はカンムリワシの営巣地が確認されたため、確認調査のスタートは遅延した。調査では、空撮、3D測量により記録することができた他、調査を終了した3月には、現地を一般公開することができた。なお、資料の整理及び記録保存冊子の刊行は、令和7年度に持ち越しとなった。		S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)		
外部評価 A	旧大浜町浄水場跡では、カンムリワシの営巣確認により調査開始が遅れたものの、環境へ配慮しつつ空撮や3D測量を用いた記録撮影を実施し、3月には一般公開を行うなど着実な成果が見られました。今後は、資料整理や記録保存冊子の刊行を通じて調査成果の継承と活用が期待されます。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和7年度(令和6年度事業)	主管課	文化財・市史編集課		
事務事業名	台湾大学所蔵資料(田代安定文庫)収集・調査事業				
施策 体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]			
	施策項目	(6)市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供			
【事業実績・目標】		※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)			
(1) R6当初の状況(課題)	国立台湾大学図書館所蔵「田代安定資料」の調査事業。本事業は国立台湾大学図書館、県内外の学識経験者らで構成する田代安定資料調査会、石垣市教育委員会の三者が共同で実施する事業である。 翻刻文や校註の作成、InDesignによる組版作業等において高度な知識と経験が求められるが、専門の職員の配置がないことや係全体としても人員が不足しているため、一部業務を外部委託を検討しなければならない状況である。				
(2) めざす目的・成果	令和9年3月に第1巻を刊行、その後令和13年3月までに全5巻にわたる資料集を刊行する。 1巻あたりのボリュームは700頁前後を予定している。				
(3) 事業内容(手段・手法等)	<ul style="list-style-type: none"> ・田代安定資料調査会の開催(年4~5回) … 事業方針の決定及び推進、進捗状況の確認等 ・研究会(Web会議)の開催(毎週開催、年間40数回)…翻刻した資料内容の確認、校註等の作成 ・翻刻原稿のInDesignによる組版データの作成(外部委託) 				
【事業指標の実績値・目標値】		R5年度	R6年度	R7年度	
事業費(決算額)		1,364 千円	1,221 千円	9,066 千円	
指標①		計画値	2	2	
田代安定資料調査会開催回数		実績値	2	1	
指標②		計画値	–	24	
田代安定資料研究会開催回数		実績値	–	20	
指標③		計画値	19	26	
翻刻文作成件数		実績値	19	26	
指標④		計画値	–	6	
組版データ作成件数		実績値	–	6	
その他 R6実績					
【点検評価】					
区分	評価の説明		評価凡例		
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果) 田代安定資料調査会については委員都合により1回のみの開催となったが、翻刻文作成、組版データ作成は計画通り実施できた。オンライン研究会についても計画に近い回数で実施できた。 (課題) 事業開始時からの懸案事項である専門的な知識や経験を持つ職員が少ないことが課題である。 (改善方法) 翻刻文や校註作成等を外部の専門家に依頼するとともに、高度な技術が求められる業務については、専門業者に委託する。		S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)		
	A				
外部評価	台湾大学・田代安定資料調査会・石垣市教育委員会の三者が連携し、毎週オンライン研究会を開催しながら明治期八重山各村の貴重な記録を翻刻・整理する事業が概ね順調に進んでいると評価します。専門人材不足には外部専門家の活用で対応しており、令和13年まで続く長期事業として、今後の成果と体制強化による質的向上が期待されます。		S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)		
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	博物館
事務事業名		郷土学習費(こども博物館教室)		
施策 体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]		
	施策項目	(7) 博物館活動の充実		
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)				
(1) R6当初の状況(課題)		博物館では、市内5年生を対象したこども博物館教室を年間8回開催している。令和6年度においては第42期生となり、受講生募集したところ定員36名中45名の受講申込があり、36名を選考し、郷土の自然・歴史・文化について理解を深め、郷土に対する誇りと愛情を高める。		
(2) めざす目的・成果		こども博物館教室について、自然や文化に触れることができる講座を年8回開催する。 成果: 年8回講座開催に対し、参加した受講生36名中 平均約25名		
(3) 事業内容(手段・手法等)		自然や文化に触れることができる講座を8回予定し、それぞれの講座で専門の講師を依頼して、受講生に学んでいくことで地域活性に繋げていく。		
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度
事業費(決算額)			668 千円	624 千円
指標①		計画値	8回	8回
年間8回講座を開催する		実績値	8回	8回
指標②		計画値	36名	36名
講座の出席人数		実績値	平均約28名	平均約25名
指標③		計画値		
		実績値		-
指標④		計画値		
		実績値		-
その他 R6実績	<input type="checkbox"/> 開催時広報 講座開催時の新聞記事掲載依頼等。			
	<input type="checkbox"/> 受講生の申込方法 オンラインにて申込の実施			
【点検評価】				
区分	評価の説明			評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果)年8回講座の出席者は前年度より減り、約25名(平均)となり目標に対して出席率が69.2%であった。 (課題)年8回講座開催する際に受講生の参加が少ないことから、受講生に対し、郷土の自然・歴史・文化を上手く伝えるなど、講座内容について関係者及び講師からの意見も踏まえ内容など調整していくことが必要と考える。なお、受講生の出席率をあげるために、アンケート調査などをを行い、出席が出来るよう調整していく。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	B			
外部評価	小学5年生を対象に、郷土の自然・歴史・文化への理解を深め、誇りと愛情を育むことを目的に42年間継続して実施されている子ども博物館教室は、専門講師による充実した内容で意義深い取り組みです。一方で、家庭的な事情はあるものの参加率の低下が課題であり、講座内容の工夫などにより、より魅力的に参加しやすい教室とすることが望まれます。			
	A			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	博物館
事務事業名		展示普及整理保存費(企画展及び収蔵品移転・整理業務)		
施策 体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]		
	施策項目	(7) 博物館活動の充実		
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)				
(1) R6当初の状況(課題)		「沖縄の染と織の至宝」-桃原用昇コレクション八重山展を開催するに開催するにあたり、多くの市民及び観光客が来場を目的し、国指定重要無形文化財保持者などの作品114点を一堂に展示することで、八重山・沖縄の染織文化への理解を深める。		
(2) めざす目的・成果		令和6年10月2日から20日まで、「沖縄の染と織の至宝」桃原コレクション八重山展を開催した。 成果:市民会館中ホールでの来場者数【5,016人】		
(3) 事業内容(手段・手法等)		本企画展では、東京都在住で石垣市出身の桃原用昇氏所蔵品の中から、八重山・沖縄の染織の作品を一堂に展示する。企画展では、新垣幸子氏他8氏による作品114点を通して、染織文化を学び、技術の継承、伝統文化の奥深さに対し、市民などの理解を深める機会とする。		
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度
事業費(決算額)			千円	16,874 千円
指標①		計画値		5回
事前広報回数(新聞記事掲載等)		実績値		5回
指標②		計画値		実施
特別企画展(桃原用昇コレクション八重山展)開催		実績値		実施
指標③		計画値		
企画展来場者数		実績値		5,016人
指標④		計画値		3回
特別企画展に伴う記念講演会の開催		実績値		-
その他 R6実績	□事前広報 垂れ幕の設置、横断幕の設置、記者懇談会、新聞記事掲載、広報いしがきの掲載			
	□記念講演会開催 10/5(土)・10/13(日)・10/15(火) 市民会館展示ホールにて記念講演会を開催した。講師は、祝嶺恭子氏・新垣幸子氏・與那嶺一子氏・玉那霸有勝氏			
【点検評価】				
区分	評価の説明			評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果)桃原用昇コレクション八重山展開催し、5,016人の来場者を記録した。 (課題)国指定重要無形文化財保持者の作品を通して、八重山・沖縄の染織文化を学び、伝統技術の継承、担い手育成に対し、より多くの市民などの理解を深めると同時に観光客の集客が出来るかが課題となる。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	A			
外部評価	令和6年度には「沖縄の染と織り」をテーマとした特別企画展が開催され、国指定重要無形文化財保持者などの作品114点を展示し、17日間で5,016人が来場するなど大きな成果を収めました。八重山・沖縄の染織文化の紹介と伝統技術の継承に貢献した意義は高く、今後は多様な企画展の推進とともに、市民や観光客の関心を高める広報・集客の工夫が求められます。			S

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	図書館
事務事業名		移動図書館事業		
施策 体系	主要施策	4 家庭・地域の教育機能の充実		
	施策項目	(10) 市立・学校図書館活動の充実		
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)				
(1) R6当初の状況(課題)		北西部地区等の遠隔地や来館が難しい方々や子どもたちへ図書館サービスの提供を実施。第8次石垣市行政改革大綱実施計画に基づき事業を推進しており、巡回地の拡充と利用者ニーズの把握が課題になる。		
(2) めざす目的・成果		移動図書館巡回地を拡充するとともに臨時巡回(こども園、小中学校等)を実施、図書館サービスを提供する。 成果・巡回地(12ヵ所)、貸出冊数5,000冊、利用者数1,000人		
(3) 事業内容(手段・手法等)		<ul style="list-style-type: none"> ・第1・3日曜日: 東回り(伊野田・明石・平久保・白保・宮良公民館) ・第2・4日曜日: 西回り(下地・吉原・川平・崎枝・名蔵公民館) ・第2・4水曜日: 市役所、健康福祉センター ・第5水曜日: 臨時巡回(こども園・小中学校) 		
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度
事業費(決算額)			321 千円	84 千円
指標①		計画値	10	12
巡回ヵ所数		実績値	12	12
指標②		計画値	4,200冊	5,000冊
貸出冊数		実績値	5,487冊	4,117冊
指標③		計画値	850人	1,000人
利用者数		実績値	1,102人	845人
指標④		計画値		
		実績値		-
その他 R6実績	<input type="checkbox"/> 事前広報 広報いしがき、石垣市HP、石垣市LINE、館内掲示 <input type="checkbox"/> 移動図書館巡回 定期巡回ヵ所12ヵ所、貸出冊数4,117冊、利用者数845人、稼働日数67日			
【点検評価】				
区分	評価の説明			評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果)巡回ヵ所は12ヵ所と計画値を到達していたが、貸出冊数は目標に対して82%、利用者数は84%であった。 (課題)利用者ニーズの把握を行い、的確に応えていくことが必要である。 (改善方法)利用者ニーズに的確に応えるため、専属司書の配置の検討と、巡回地の拡充及び臨時巡回の実施を図る。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度計画通り (50~69%) C:あまりうまくいっていない (30~49%) D:うまくいっていない (29%以下)
	A			
外部評価	移動図書館は北西部など遠隔地へのサービスとして計画通り12ヵ所を巡回し、地域の読書機会の確保に貢献しました。一方で、貸出者数や利用者数は目標を下回っており、利用促進のための情報発信や臨時巡回地の拡充、利用者ニーズの把握が課題です。今後は、サービス充実に向け、専任担当者の配置など体制強化を図ることが望まれます。			
	A			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	図書館
事務事業名		児童書関連事業(だっこDEおはなし会、ぬいぐるみおとまり会)		
施策 体系	主要施策	4 家庭・地域の教育機能の充実		
	施策項目	(10) 市立・学校図書館活動の充実		
【事業実績・目標】		※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)		
(1) R6当初の 状況(課題)		<ul style="list-style-type: none"> ・だっこDEおはなし会 ブックスタート事業(赤ちゃんと保護者に絵本で心触れあうひと時を届ける)後の継続事業として実施し、乳幼児の図書館利用促進が課題になる。 ・ぬいぐるみおとまり会 子どもたちが大切にしているぬいぐるみが、図書館に泊まり過ごすことで、図書館を身近に感じてもらい子どもたちの読書活動を推進するため実施、開催内容が課題となる。 		
(2) めざす目的・ 成果		<ul style="list-style-type: none"> ・だっこDEおはなし会 親子で一緒に楽しめる乳幼児向けのお話し会で、乳幼児の読書活動を推進する。 成果:開催数11回/132人 ・ぬいぐるみおとまり会 子どもたちの読書活動を推進する。成果:8人 		
(3) 事業内容 (手段・手法等)		<ul style="list-style-type: none"> ・だっこDEおはなし会の開催(毎月第3水曜日) 1歳未満対象、わらべうたや手遊び、絵本の読み聞かせなどを実施。 ・ぬいぐるみおとまり会 (秋1回) 3歳から小学1年生対象、ぬいぐるみと一緒にお話し会に参加した後ぬいぐるみは図書館に泊まる。翌日ぬいぐるみを迎えてきた子どもたちに選書した図書を貸出にする。 		
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度
事業費(決算額)			0 千円	0 千円
指標①		計画値	12回	11回
だっこDEおはなし会 実施回数		実績値	12回	11回
指標②		計画値	144人	132人
だっこDEおはなし会 参加人数		実績値	95人	82人
指標③		計画値	2回	1回
ぬいぐるみおとまり会 実施回数		実績値	2回	1回
指標④		計画値	16人	8人
ぬいぐるみおとまり会 参加人数		実績値	16人	8人
その他 R6実績	<ul style="list-style-type: none"> ・だっこDEおはなし会 事前広報 新聞記事、広報いしがき、石垣市HP、石垣市LINE 毎月第3水曜日開催(11月除く) 石垣市立図書館和室会議室 11回開催 /82人 ・ぬいぐるみおとまり会の開催 事前広報 石垣市HP 10月19日(土)～10月20日(日) 市立図書館視聴覚室 8人 			
【点検評価】				
区分	評価の説明			評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・だっこDEおはなし会 (成果) 参加者は前年度より減り、82人となり目標に対して62%であった。 (課題) 月齢が高くなると参加者が少なくなる傾向があるので、広報や内容に工夫が必要。 (改善方法) 内容についての見直しや広報の回数や方法の工夫を図る。 ・ぬいぐるみおとまり会 (成果) 開催数が前年度より減ったが、参加者は8人と目標に対して100%であった。 			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
外部評価	「だっこDEおはなし会」や「ぬいぐるみおとまり会」は、予算を伴わない事業ながら、職員の創意工夫により乳幼児の読書活動や親子での図書館利用を促進し、市立図書館の全世代型活用として高く評価できる取り組みです。一方で、利用者減少の背景には駐車場確保など利便性の課題もあり、臨時巡回や専属司書の配置などを含む改善策の検討が求められます。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	学校給食センター
施策 体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り拓く児童生徒の育成		
	施策項目	(14) 食育の推進		
【事業実績・目標】		※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)		
(1) R6当初の状況(課題)		新設移転から11年目を迎える学校給食センターでは、空調設備等の修繕、調理器具の更新時期となっており、機能維持のため計画的な取り組みが求められている。人件費及び燃料費等が高騰する中で、安心・安全な給食を衛生的な環境のもと提供する必要がある。		
(2) めざす目的・成果		成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図る。安心安全な学校給食の提供するため労働環境の改善を図る。		
(3) 事業内容(手段・手法等)		調理業務等民間委託 学校給食準備室を含めた衛生管理点検 施設の計画的な修繕と調理機器等の更新 学校給食衛生管理基準の徹底		
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度
事業費(決算額)			184,705 千円	222,933 千円
指標①		計画値	委託	委託更新
調理業務等民間委託		実績値	委託	-
指標②		計画値	0	0
施設を原因とする公務災害の発生件数		実績値	0	0
指標③		計画値	1,007,000	1,007,000
年間給食提供数		実績値	987,211	985,304
指標④		計画値		
		実績値		-
その他 R6実績	□調理等民間委託 調理・配送等を民間委託し衛生管理を徹底するとともに人員確保と調理技術の向上を図った。 □安定的な給食提供 給食調理日数:198日 給食提供数:985,304食 □衛生管理等 ・食材検収、調理業務、配送車維持管理等の適正管理・食品衛生責任者(栄養士)、業務責任者、ボイラー技師、厨房施設責任者等の適正配置			
【点検評価】				
区分	評価の説明			評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果)学校給食の提供について、計画どおり実施することができた。衛生管理研修、調理機器等の保守点検について適正に実施できた。 (課題)委託事業者における人材確保と、配送業務の負担増への対応。熱中症対策としての空調設備の修繕が必須。米飯配達等委託に関しては、事業継続のため業務内容の見直しが必要。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
外部評価	事業としては計画通りに進められているものの、市内18校・約5,300食を支える給食センターでは、空調設備や調理器具の老朽化が進み、早急な修繕と更新が必要であり、特に洗浄室の高温環境への対応や衛生管理体制の維持、委託業務の見直しなど、職場環境と安全確保の両面で改善が求められます。なお、令和7年度に新設された「おいしい給食係」には、安全で安心な給食提供への強い思いが込められていると感じ取れました。			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度		令和7年度(令和6年度事業)	主管課	学校給食センター			
事務事業名		学校給食充実・支援事業					
施策 体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り拓く児童生徒の育成					
	施策項目	(14) 食育の推進					
【事業実績・目標】		※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1) R6当初の 状況(課題)	物価高騰による給食食材の価格上昇の影響から、給食の質と量を維持することが困難な状況となってきた。価格高騰分に対して公費負担することで、給食の質と量の維持・向上と地産地消の推進を図りつつ保護者の負担する給食費に変更が生じないように支援する。						
(2) めざす目的・ 成果	給食調理に用いる安心・安全な食材の調達 児童生徒に栄養バランスのとれた給食を安定的に提供する 地元産食材を用いた献立の作成及び地元食材の使用拡大						
(3) 事業内容 (手段・手法等)	現状の学校給食費一食単価に、物価高騰影響額分及び地産地消推進分として35円を公費負担することで質と量の維持と、地産地消の推進を図る。 ①物価高騰影響分 25円 ②地産地消推進分 10円						
【事業指標の実績値・目標値】			R5年度	R6年度			
事業費(決算額)			0 千円	50,320 千円			
指標①		計画値	-	50%			
石垣島産「お米」使用		実績値	-	50%			
指標②		計画値	-	維持			
学校給食の質と量の維持		実績値	-	維持・向上			
指標③		計画値	-	2社			
地元食材取扱い業者の新規登録		実績値	-	4社			
指標④		計画値					
		実績値		-			
その他 R6実績	<input type="checkbox"/> 地元産使用食材 ・牛乳100%地元産使用 ・米飯50%地元産ひとめぼれ使用 <input type="checkbox"/> 地元産使用献立の作成 ・献立表に、地元産、県内産の表示。特色ある地元食材を使用 (ユーグレナ麺、石垣島新米給食、美崎牛丼、石垣島産たっぷりday、石垣島産マグロフライ、沖 夢紫紅芋タルト、石垣塩ちんすこう、もずく丼等々) <input type="checkbox"/> 物価高騰に対する対応 ・物価高騰による給食への影響を軽減し、質と量を維持・向上す るため1食あたり35円を補助						
【点検評価】							
区分	評価の説明			評価凡例			
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果)成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた給食を提供し健康の増進、体位の向上を図った。地元産お米を週2回提供開始。野菜、海産物等の地元産使用献立が増加した。 (課題)給食食材の価格高騰は今後も続くが学校給食の質と量を適正に維持・向上する必要がある。地元食材の安定供給のため農林・商工部門との連携			S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)			
	A						
外部評価	物価高騰の中、ふるさと納税を活用した「学校給食充実支援事業」により、一食あたり35円を上乗せて質と量の維持に努めている点は高く評価できます。石垣産米50%や牛乳100%使用など地産地消の推進は食育にも有意義ですが、地元食材の安定供給と今後の物価変動に対応するため、農林水産商工部をはじめ関係部署との連携強化が求められま						
	A						

3 外部評価委員による総評

吉濱 剛

評価対象事業については、指標を示して達成目標を設定して評価を行い、内部評価についての説明を受けて外部評価を行いました。

評価事業対象は 16 事業で、全体としては S 評価(計画以上 101%以上)が 2 事業、A 評価(計画通り 70~100%)は 14 事業でした。

S 評価(101%以上)については、高齢者大学事業と特別企画展「沖縄の染と織の至宝」でした。2 事業については、目的、達成のための手段が積極的であり、その成果も大きく当初目的を超えて大きな取組み成果がありました。

高齢者大学事業は、高齢化社会を迎える、生涯学習の一環として高齢者の生きがいに直接繋がる事業で申込者も多く人気の講座となっていて、終了後も自主的に部活動等を楽しんでいるようです。今後は、直接参加が困難な遠地や高齢者に配慮した出前講座やオンラインを活用した講座も視野に入れて、更に高齢者のニーズに応えて欲しいと思います。

特別企画展「沖縄の染と織の至宝」(桃原用昇コレクション展)は、八重山・沖縄の国宝級の染め織文化を直接見学でき、17 日間の来場者が 5016 名で地元の伝統技術の継承や地域文化への理解促進に大いに寄与していると感じました。今後も地元文化を市民に公開する企画展を期待したいです。

その他、特に印象的な事業の所感を述べます。

42 年間継続しているこども博物館事業は、地道に継続実施してきた誇れる事業だと思います。子供たちが自分の住んでいる地域に関心を持ち、専門講師から郷土の自然・歴史・文化の良さを知り、触れる機会として貴重な事業で今後も継続を強く望みます。

学校現場では、GIGA スクール構想推進事業の下、授業における個別最適化の学びを保障するため ICT 教育を推進し、全国・県平均を上回る活用率を達成しています。離島というハンディを ICT 教育という先進的なデジタルコンテンツを活用して未来社会を生きる子供たちの「生きる力」を育んでもらいたいです。

移動図書館事業・児童書関連事業(だっこ DE おはなし会・ぬいぐるみおとまり会)は、市立図書館利用を全世代型と位置づけ、乳幼児から親子で絵本に親しあり移動図書館で島内各地に出向き利用促進を図っていることは、「市民に開かれた図書館」として高く評価します。

全体の課題として感じたことは、成果目標に対して幾つかの指標を示していますが、目標達成のための指標を総合的に評価してほしいと感じました。

各課の説明で感じたことは、事業を推進する上で専門指導員の確保やマンパワーが足りてなく、限られた担当職員の努力で補っていると感じました。

外部評価委員として、教育委員会の各課の取り組み説明ができるだけ市民目線で聴くように努めました。外部評価を行うことで更なる事業の取り組みの活性化に繋がることを期待します。

社会の変化とともに市民サービスの在り方も変容していきます。全体の奉仕者として市民目線を大切にした業務を今後とも推進してもらうことを期待します。

古堅 博之

本年度の学校教育・社会教育・文化財・施設整備等の幅広い分野において、計画的な取り組みが進められ、概ね良好な成果がみされました。特に、GIGA スクール構想推進事業では、全国・県平均を上回る ICT 活用率を達成し、教育のデジタル化が着実に進展している点が高く評価できます。一方で、端末故障やネットワーク帯域不足など、運用段階での課題も顕在化しており、今後の環境整備による安定化が期待されます。

また、スクールロイヤー活用事業や不登校対策支援員配置事業では、学校現場への法的支援や児童生徒への個別支援体制が定着しつつあり、教育現場の安心・安全の確保に寄与している点が評価されます。引き続き、支援の基準や連携体制を明確化し、より効果的な支援の実現を図ることが望まれます。

教育・保育環境整備や AED 整備事業については、各学校の要請に応じた迅速かつ的確な対応が行われており、現場ニーズに即した運用が継続しています。一方で、施設の老朽化に伴う修繕需要が増加傾向にあるため、今後も安定的な維持管理のための財源確保が課題であります。

社会教育・文化振興の分野では、社会教育事業や展示普及整理保存費の取り組みを通じて、市民の学びと文化への関心が高まっています。子ども博物館や高齢者大学の申し込み人数においてみると、定員数を上回っていることは、子供から大人まで郷土の文化・歴史に興味がある方々が多い事を示しています。このことは、歴史・文化の継承者を育てるしっかりとした基礎を作り出しており、高齢化社会時代において、「元気で健康な長寿」の方々を生み出している要因でもあると思慮されます。

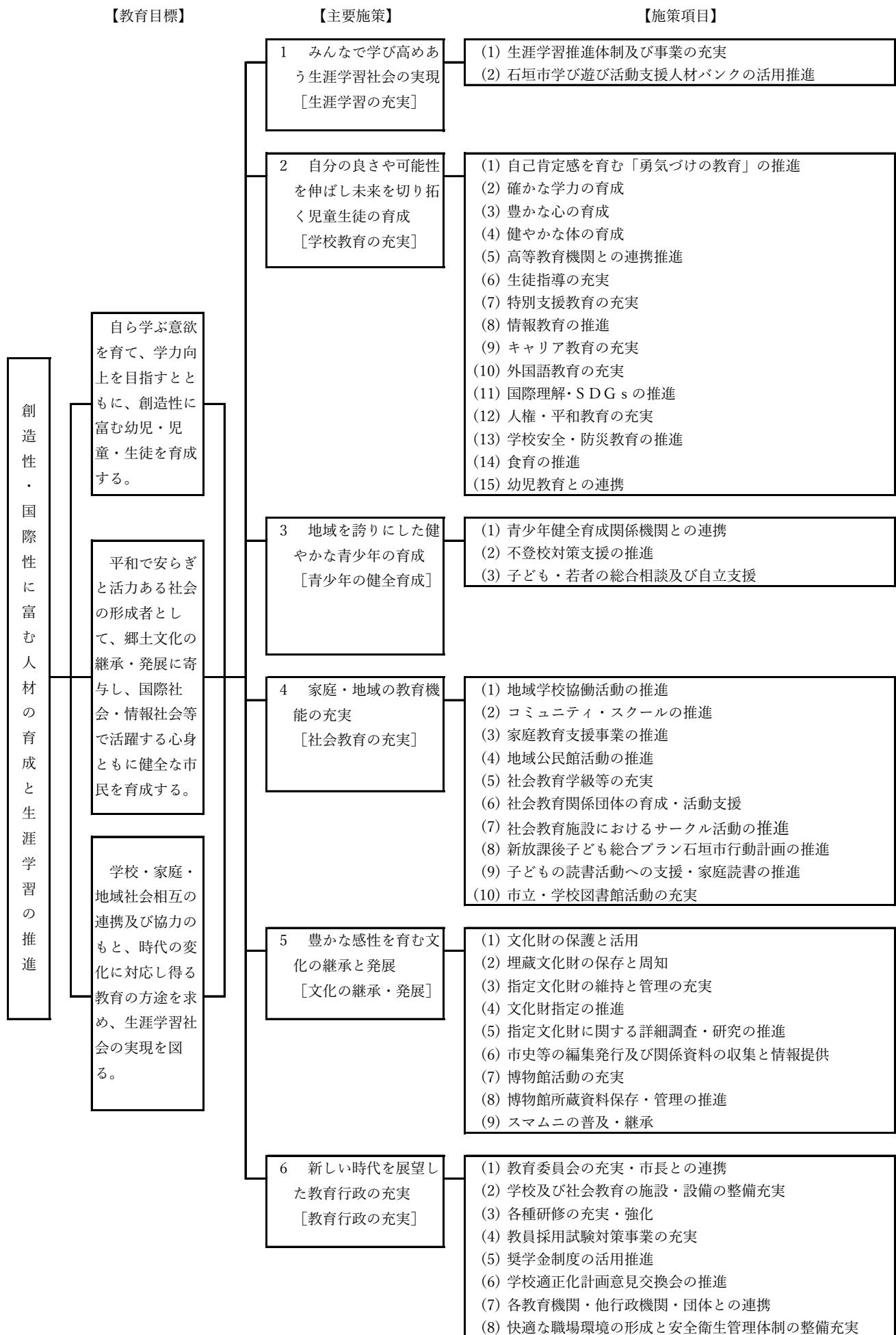
桃原用昇コレクション展では、多くの来場者を集め、地域文化の理解促進と伝統技術の継承に寄与した点が評価できます。今後は、オンライン活用や広報の工夫による参加機会の拡大が期待されます。

家庭・地域の教育機能としてますます重要になっている図書館は、少ない予算の中での移動巡回図書館・だっこ DE おはなし会などは、職員の創意工夫によって、更に利用者の増加が期待されます。

一方で、学校給食の無償化や関連事務に伴う突発的な業務増加など、制度改正による一時的な負担増も見られますが、来年度以降は体制の安定化とともに、より一層の効率化と成果向上が見込まれます。

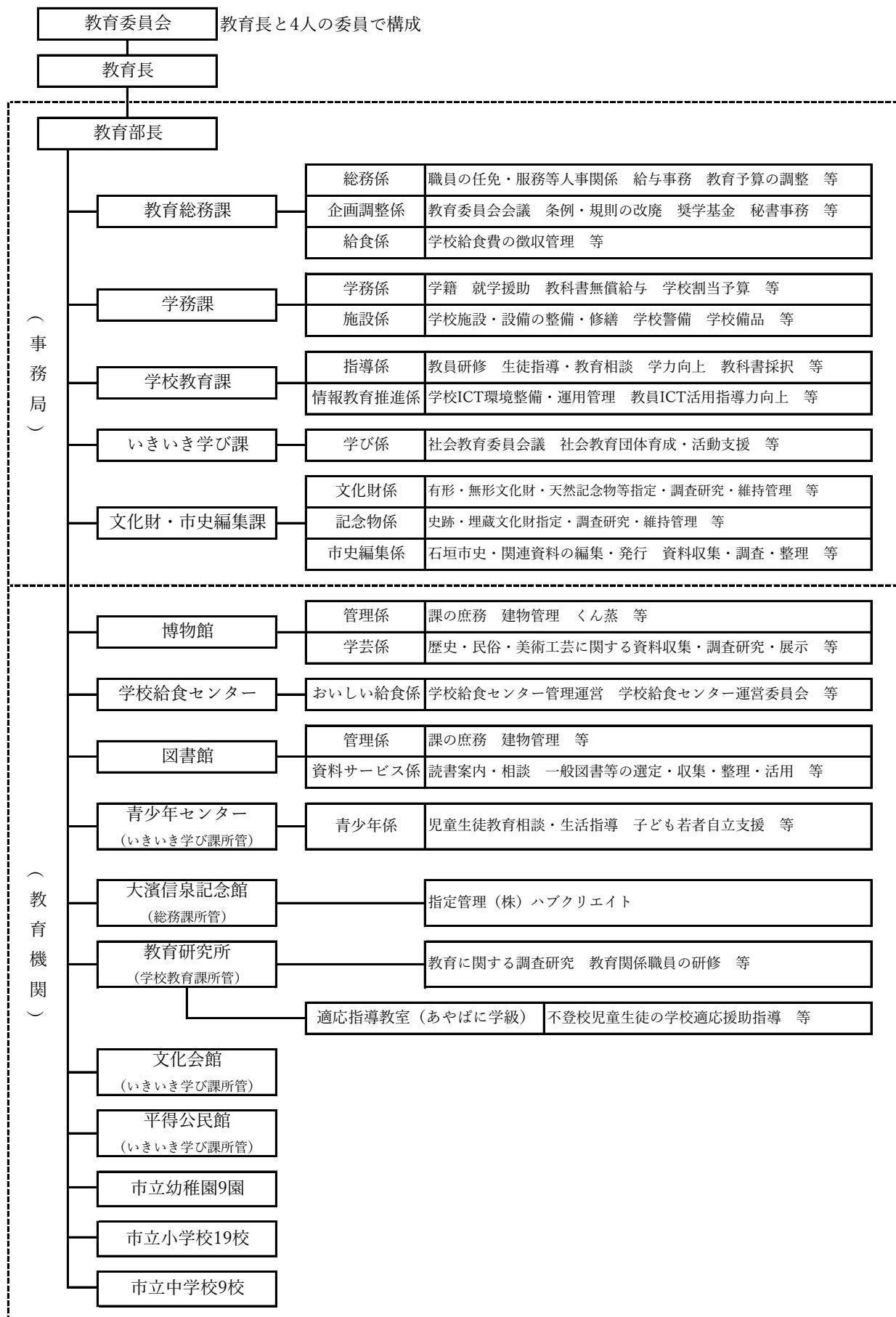
総じて、本年度の取り組みは、教育・文化行政の基盤強化に向けて着実な進展を示しており、今後は得られた成果を継続・発展させるとともに、課題に対する計画的な改善と持続可能な運営体制の構築が求められます。

令和6年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系



令和7年度 石垣市教育委員会組織機構図

令和7年4月1日現在



石垣市教育事務点検評価実施要綱

平成21年1月30日

教育委員会告示第1号

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことについて必要な事項を定めるものとする。

(教育事務点検評価委員会)

第2条 教育事務点検評価は、教育委員会を主体とし、点検及び評価の業務を的確かつ円滑に執行するため、教育事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を置く。

2 点検評価委員会は、教育部長、石垣市教育委員会事務局組織規則(平成15年石垣市教育委員会告示第10号)第5条に定める事務局の課の長、博物館長、学校給食センター所長及び図書館長をもって構成し、委員長に教育部長、副委員長に教育総務課長をもって充てる。

3 委員長は、点検評価委員会を代表し、その事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その事務を代理する。

5 点検評価委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

(点検及び評価する事務)

第3条 教育事務点検評価で点検及び評価する事務は、教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)で、前年度に執行されたものうちから点検評価委員会が抽出した事務とする。

(点検及び評価の時期)

第4条 教育事務点検評価は、前年度決算後速やかに実施するものとする。

(点検及び評価の方法)

第5条 教育事務点検評価は、第3条の規定により抽出した事務を、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める組織が行うものとする。

(1) 内部評価 点検評価委員会

(2) 外部評価 教育事務点検評価のために置かれる外部評価委員会

(外部評価委員会の設置)

第6条 教育委員会は、事務の点検評価に関し、その客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 前項の学識経験を有する者の知見を活用するため、外部評価委員会を設置する。

3 外部評価委員会は、2人の委員で組織する。

4 外部評価委員は、次に定める者の中から教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) その他教育委員会が必要と認めた者

5 外部評価委員の任期は、委嘱の日から委嘱の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

6 外部評価委員の報酬は、石垣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和47年石垣市条例第70号)別表に掲げる法又は条例による審議会等の委員に委嘱された者の報酬額に準じるものとする。

(報告書の作成)

第7条 教育事務点検評価の結果に関する報告書(以下「報告書」という。)は、点検評価委員会が作成し、前条に規定する外部評価委員会の意見を付して、教育長が教育委員会に付議するものとする。

(報告書の提出及び公表)

第8条 報告書の議会への提出は、12月定例会に行うものとする。

2 報告書は、前項の提出を行った後、速やかに石垣市のインターネットホームページで公表するものとする。

(結果の活用)

第9条 教育事務点検評価の結果は、教育行政の計画立案、事務の改善、効率化等に活用するものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、教育事務点検評価の業務に必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年教委告示第10号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年教委告示第3号)

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年教委告示第18号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年教委告示第5号)

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年教委告示第20号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(令和3年教委告示第2号)

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

令和 7 年度
石垣市教育事務点検評価報告書
(令和 6 年度事業対象)

令和 7 年 11 月 発行
石垣市教育委員会
沖縄県石垣市字真栄里 672 番地
TEL 0980-82-2604
FAX 0980-82-0294
